

竜巻の正体を知ろう！

ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前 ()

1. 竜巻はどんな姿をしていますか？



(回答例) 大きな積乱雲(入道雲)の下で発生する、はげしい空気のうずまき。

学習のポイント1 『竜巻』と発生源である『積乱雲(入道雲)』を視覚的にイメージする。

学習のポイント2 竜巻の特徴を理解する。竜巻とつむじ風の違いを理解する。

学習のポイント3 竜巻の移動するスピードはとても速く、竜巻の大きさによって早さが異なる(一定ではない)ことを理解・イメージする。大きな積乱雲の下では、竜巻が複数発生(1つだけではない)する場合があることを理解する。



学習ポイント1の補足:

- 1) ろうと状の雲になっている(積乱雲から垂れ下がる)、2) 物やごみが巻き上げられ飛んでいる
※つむじ風は、晴天の日にうずまきのように起きる強い風で竜巻ではない。テントなどを巻き上げる危険がある。

学習ポイント2の補足:

- 1) 土煙が近づいてくる(動いてくる)、2) 「ゴーツ」という音がする、3) 耳鳴りがする(耳が痛い)

学習ポイント3の補足:

- 1) 竜巻の平均速度は時速約36km(自動車くらい)、大きな竜巻は時速100km(特急電車)くらいの速さで移動する
2) 大きな竜巻の周囲で小さな竜巻が発生することがある ※竜巻は短時間で通過する、見ていると危険

2. 竜巻によって、どんな被害が起きますか？



(回答例) いろいろな物が飛んできて、建物(窓やかべ)をこわす。など

学習のポイント1 竜巻によって起こる様々な被害を理解する。「大きな竜巻では、被害が大きくなり、命に関わるような災害になることを理解する。

学習のポイント2 竜巻によって起こる被害の範囲を理解・イメージする。

学習ポイントの補足: 1) 飛んできた物でガラスが割れる、2) 屋根や物置が飛ばされる、3) 建物や電柱、大きな木や看板、自動販売機が倒れる、4) 車がひっくり返る、5) 人間も飛ばされる、6) 停電する
※被害の範囲は、数キロから数十キロに及ぶこともある

3. 竜巻が発生しやすい天気を事前に知るには、どうしたらよいですか？



(回答例) (朝の)天気予報を見る。ニュースや気象情報に注意する。

学習のポイント1 積乱雲や竜巻の発生が予想される時、天気予報で伝えるキーワードを理解する。

学習のポイント2 天気予報や気象情報を入手し、気象の変化を理解して行動する習慣を身に付けさせる。

学習ポイントの補足: 1) 竜巻キーワード「大気の状態が不安定(積乱雲の発達)・天気急変に注意(急な大雨、雷、ひょう)・突風や竜巻に注意」2) 気象情報「竜巻注意情報、雷注意報」、3) ニュースやインターネットなどで気象情報を入手できる

4. 竜巻が発生しやすい天気には、どのようなことに気をつければよいですか？



(回答例) 空の様子や、周りの変化に注意して行動する。

学習のポイント1 竜巻が発生する予兆(気象)現象を理解し、視覚的にイメージする。

学習のポイント2 空を観察して、天気の変化を予測することの大切さを理解する。

学習ポイントの補足: 1) 竜巻の予兆現象「低く黒い雲(積乱雲)が接近する、雷(雷光が見えたり雷鳴が聞こえる)、急に冷たい風が吹き出す、急な雨やひょうが降る」などの気象現象が発生する

まとめ

竜巻がなぜ怖いのか、竜巻に気づくためにはどうしたらよいのか復習しましょう！

たつまき しょうたい し
竜巻の正体を知ろう！

ねん くみ ばん なまえ
 年 組 番 名前 ()

たつまき すがた
1. 竜巻はどんな姿をしていますか？



たつまき ひがい お
2. 竜巻によって、どんな被害が起きますか？



たつまき はっせい てんき じぜん し
3. 竜巻が発生しやすい天気を事前に知るには、どうしたらよいですか？



たつまき はっせい てんき き
4. 竜巻が発生しやすい天気には、どのようなことに気をつければよいです



まとめ

たつまき こわ たつまき き らくしゅう
竜巻がなぜ怖いのか、竜巻に気づくためにはどうしたらよいのか復習しましょう！